



題字／第三代理事長 佐藤貞一氏書

第 32 号

(通巻第55号)

令和4年8月1日

■発行

公益社団法人

仙北市シルバー人材センター

仙北市角館町北野62-2

電話55-1646/FAX55-1652

E-mail:kitasen@sjc.ne.jp

(HP)<https://webc.sjc.ne.jp/kitasen/>



ツル  
蔓バラとこまちの共演

初夏の神代－刺巻間のこまちです。

東京の空気と秋田の空気は随分違うなあと言っているみたいです。

写真・文／生保内班 田村 茂雄

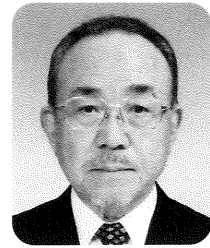
季節の写真を  
掲載します

会報シルバークिताうらの、表紙に載せる写真を広く会員の皆さんから募集しますので写真に簡単なメッセージを添えて応募して下さい、お待ちしております。

# あかるい社会に!!

公益社団法人仙北市シルバー人材センター

理事長 **山田 勝洋**



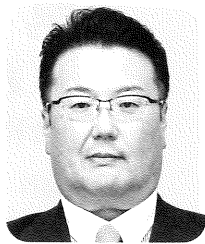
皆様に滞りなく進行しましたこと深く感謝を申し上げます。  
二〇二〇年からの新型コロナウイルス

清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当シルバー人材センターの令和四年度定時総会は、皆様のご協力を賜りまして、

## ごあいさつ

仙北市長 **田口 知明**



皆様におかれましては、  
日頃より

仙北市の取り組みをご支援いただき、心より御礼を申し上げます。変わらぬ行政事業サポート、また会員の健康保持と生きがいづくりなど、積極

的に取り組まれていることに重ねて敬意を表します。  
新型コロナウイルスとの闘いは三年目を迎えました。感染拡大により、これまで多くの観光客に足を運んでいたただいた市内観光地への人流が途絶え、市民活動すらままならない状況が続いていまし

イナ侵攻が勃発し、それによって為替相場も円安となり、物価が上がり、家計にも大変悪影響をあたえています。

近年、地球温暖化により、六月頃から記録的な高温が続く高齢者にとっては大変です。夏のマスク使用については熱中症にならないよう充分注意をしていただきたく思います。会員の皆様は就業中の事故、特に庭木の剪定時の転落や蜂さされ、又就業途上の事故、チョットした気の緩みでの重

たが、やっと観光需要の復活が見えつつあります。

また、とにかく人が集まる行事は中止を判断するしかありませんでしたが、秋田県内、仙北市内とも感染者の数は減少傾向にあり、さまざまな行事、集会は感染症対策を講じて再開できる状況になってきています。市民の皆さま、シルバーの皆さま、感染しない・させないを徹底し毎日を丁寧にお過ごしください。

篤事故等に注意してお客様の要望に添えていただきたく思います。最近のシルバー人材センターに対するニーズも多様化しており、空家管理、お墓の清掃等の依頼も多くなつて来ています。いろいろなニーズにこたえられる様、会員のスキルアップを図り市民の皆様のご要望にこたえられるよう会員皆で努力してまいりますので今後共ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

これまでのシルバー人材センターの広範な取り組みで、市民生活も市役所業務も本当に助けられているという思いです。人口減少と少子高齢社会の中で人手不足が続く、地域が存続し続けるには貴センターの役割がさらに重要になります。

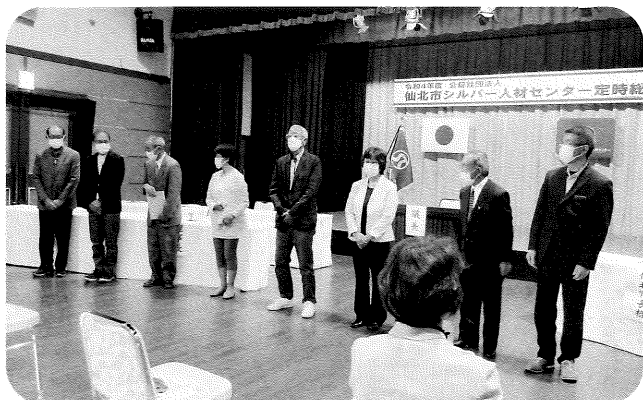
皆様には、今後とも健康にご留意をいただき、仙北市を支える主体者として、さらなるご活躍をご祈念申し上げます。





# 令和4年度定時総会 開催

去る6月9日(木)に、西木温泉ふれあいプラザクリオンを会場に開催いたしました。今年度も「新型コロナウイルス感染症」の感染防止対策を講じての開催となりましたが、書面による議決権行使書、委任状の提出等合わせて総会員の過半数を超えたことにより総会が有効に成立し、議案は原案の通り全て承認、可決されました。また、今回は任期満了に伴う役員改選もあり、総会終了後の理事会に於いて、新三役が決定いたしました。



## 新役員名簿

理事長 山田勝洋 (中央班)

副理事長 西宮博和 (西明寺班)

常務理事兼事務局長 菅原和善

理事 西宮忠雄 (北部班)

理事 井上久美子 (菅沢班)

理事 新清水力 (神代班)

理事 新佐藤晴子 (西明寺班)

監事 橋本勲 (桧木内班)

監事 新伊藤一彦 (西明寺班)

## 退任役員

前副理事長 相馬順子

七期十四年の長きにわたり、大変ご難儀をお掛けいたしました。

# 私の趣味

## のどかな郷で

西明寺班 阿部 栄子

もう葉(八)月、<sup>よわ</sup>齡を重ねますと「時」はスピードアップ感覚がします。そして今ここにいられることに感謝しかありません。皆さまにおかれましても、ご壮健の事と思います。

私は数年前から、短歌の会にご縁を頂き、<sup>こと</sup>言の葉種<sup>はぐき</sup>に浸っております。

短歌は、「五七五七七」の三十一文字で表現をします(例外も有りますが)。季語はなく感情・事柄・景観的なもの等、身辺に数多<sup>あまた</sup>あります。つまり何でもOKです。入会前は何も感じえない事でも今は野イチゴ一粒や代掻き後の小波打つ水鏡にサギの散歩?とか、他にも窓外の緑の田面に内陸線の往復(幻想的でレトロな

雰囲気の特急) 縄文号と普通列車がガタゴト走っています。毎月歌稿の締め切り日目前

で題材に悩む事も：その時は、思考錯誤に。浮かんで来た試作品(愚作でも)に嬉々としてそれも又面白く楽しいひと時です。

そして自宅から見える裏山もいいですが、四季を問わず南西の方角から古城山を観るのが大、大、大好きです。今の城跡は裸木<sup>らうぼく</sup>からもえぎ色、そして鮮やかな新緑から深緑に。山全体が着膨れのようにまるで「画布」の様。こんな些細な事を感じて作句しました。又この山は私にとって、最高の観光スポットです。まだまだ不慣れですが投句を。

○振り向けば大根間引きの畑の老女<sup>ひと</sup>頬<sup>ほっかほ</sup>被り<sup>かぶ</sup>姿<sup>は</sup>亡母<sup>はは</sup>に見えくる

○まばらでも手と手振り合う縄文号われ沿線で大歓迎を(次は、少し涼感的に)

○沈黙の川面に映える木の間から鮎のジャンプを白サギ狙う

○夢のよう古城山に吸い込まれ木々の雪花<sup>せつか</sup>は庭園のごと趣味の中からの一コマでした。

コロナウイルスと暑さに負けず安全第一を。そして経験という特技を活かしシルバーパワー全開の大輪の華を咲かせましょう! 『ご自愛も』  
今後も宜しく頼むらしい。

### 短冊の記入例

夏休み畑<sup>はた</sup>からきゆうりトマトもぎ<sup>は</sup>……上句

○ ○ ○ 車座<sup>は</sup>で食みし児の頃<sup>は</sup>惚ぶ<sup>は</sup>……下句

1行目より3文字分下げます

えいこ

## 安全・適正就業委員

- 委員長 田村弘樹 (菅沢班)
- 副委員長 佐藤義孝 (神代班)
- 委員 西宮忠雄 (北部班)
- 委員 藤村秋夫 (岩瀬班)
- 委員 清水力 (神代班)
- 委員 佐藤久一 (西明寺班)
- 委員 仙波久美 (事務局)
- 委員 門脇幸子 (事務局)



# お客様の声

## 「シルバーさ、たのめ」

西木町 浅利 佳一郎

母の介護のために五十年振り  
で秋田に戻って来たのはまだ肌  
寒い春先のことだった。

私が母とこれから暮らす家は  
戦後、建て替えられた家で私は  
住むことなく東京に転校してい  
る。この家はガラス窓と明かり  
障子に囲まれていて常に採光を  
感じる家だった。

父が生まれ育った古い家は茅  
葺屋根の曲がり屋でほとんどが  
襖障子でそれもすべて一枚杉の  
板で出来ていて全部閉め切っ  
てしまうと部屋は闇と化した。多  
分、父はあの部屋の暗さに辟易  
してガラスと明かり障子の家に  
したのでろう。

「障子張り替えるが？ 煤け  
て暗いし、穴あいで寒いし」と  
母が言う。

そう言われてみると確かに障  
子紙は茶色に煤けているし破れ



障子の穴から花冷えの風が漏れ  
てきている。慌てて家中の明か  
り障子と襖障子を数えてみたら  
全部で五十六枚もの障子がある  
のである。母にそのことを言う  
と「シルバーさ頼め。安いから」  
と言った。母はこの家の障子の  
多さも、お金の掛かることも知  
っていたのである。

この時は半分ほどの張り替え  
をシルバーセンターにお願いし  
たが、朝出して、夕方には張り  
替えられた真っ白な明かり障子  
が早々と戻ってきた。母の部屋  
の障子は全部新しくなった。

「明るくなつてええなあ。温  
くええなあ」

母はそう呟きながら明かり障  
子の周りを車椅子でうろろし  
ていた。

# 会員の声

## 入会して思う事

西明寺班 佐藤 晴子

私は、昨年の十二月に入会致  
しました。入会前に就業見学が  
あり、冬囲いの現場を見せて頂  
きました。縄の結び方にしても、  
いろいろな方法があり、板や木  
の使い方も様々でした。あまり  
見事に仕事を進めていくので、  
尋ねた所、講習会に参加して技  
術を身につけたとの事でした。

他にも仙北市シルバー人材セ  
ンターでは、障子張りの講習会  
の案内もありました。残念なが  
ら、今回は日程が合わず参加で  
きませんでした。機会があれば  
是非参加したいと思えます。

また、先輩会員の方には、ス  
マホを使いこなしている方もお  
り、生涯現役と新しい事への挑  
戦に感心するばかりです。

自分は、何もできませんが、  
できる事から少しずつ参加して  
いきたいと思っています。

# 広報委員

委員長 真田 修  
(雲沢班)

副委員長 土屋 辰雄  
(中央班)

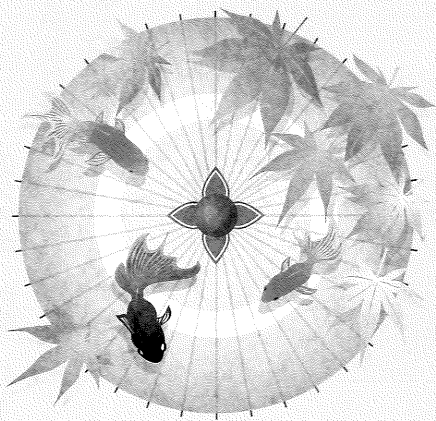
委員 井上 久美子  
(菅沢班)

委員 田村 茂雄  
(生保内班)

委員 阿部 栄子  
(西明寺班)

委員 佐藤 晴子  
(西明寺班)

委員 草薨 八重子  
(事務局)



# 文芸

## 俳句

神代班 大山 優子

○竹の子の呼ぶ声するとクマ一頭

○蟻の群前後左右にマスクゲーム

○試食して苦みの残る瘦せワラビ

松木内班 橋本 勲

○吉田輝星と百姓一揆の夏が来る

○選挙戦あちらこちらのおいぎ草

松木内班 橋本 敦子

○蝸牛内緒話しのできぬ夫

○蟬時雨句読点なき読経かな

## 短歌

菅沢班 小田長 幾子

○草の花踏まれてもなお立ちあがり

我が人生と重なりていとおしきかな

○ザクザクと落葉の絨毯心地よく

このままずっと踏み続きたし

雲沢班 菅原 シホ子

○熊除けの鈴持つ夫に従ぎて行く

森の静寂に沢水の音

○駅ピアノノ空港ピアノノ街ピアノ

弾く人を待つわが家のピアノ

西明寺班 阿部 栄子

○屋根雪の落ちくる音のすさまじく

外に出ずれば西陽の眩し

○東雲の炊けしかおりと囁りに

夢より目覚め吾今日も生く

松木内班 橋本 敦子

○何気なく四ツ葉のクローバー見つけたり

そつと呟く「良い事あるね」

## 川柳

北部班 青山 甫

○雨に濡れし花のじゅうたん寒そうに

○わらび取り熊よけ鈴に足踊る

広久内班 伊藤 謙悦

○金正恩口ケット好きまた飛ばす

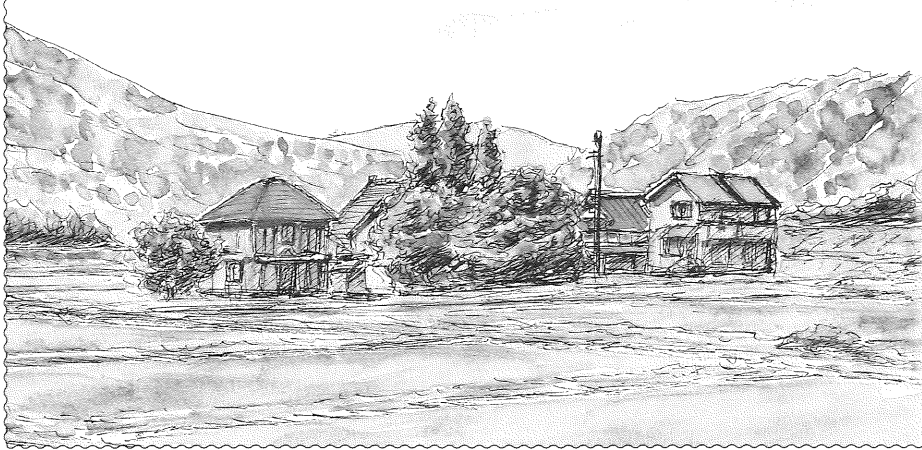
○新聞を見るたび無残ウクライナ

広久内班 伊藤 恭子

○子供の日かしわ餅食べ笑みもらい

○大瀉で桜・菜の花コラボする

広報委員会では、会員の皆さんからの文芸を、随時募集しております。







## 同世代の仲間と一緒に働いてみませんか？

当センターでは、随時、仙北市にお住いの健康で元気な皆さまをお待ちしております。特に、「草むしり」や「施設等の屋内業務」などの依頼が増えてきております。60歳以上で働く意欲があればどなたでも会員になれますので、お友達同士やご夫婦お揃いで説明会へ参加してみませんか？ お話を聞くだけでも構いませんので、お気軽にお問合せください。



**入会説明会の開催日**

令和4年 8月22日(月)	令和5年 1月20日(金)
9月20日(火)	3月20日(月)
10月20日(木)	4月20日(木)
11月21日(月)	5月22日(月)
12月20日(火)	6月20日(火)
	7月20日(木)

※ 説明会へ参加希望の場合は、準備の都合により事前の申込みをお願いします。なお、2月の開催はありません。



### 【就業体験・職場見学のお知らせ】

シルバー人材センターでは、入会を希望する高齢者や職種転換を希望するセンター会員のほか、センター会員が希望する分野での仕事の発注が見込まれる企業や官公庁を対象に就業体験や職場見学を実施しております。ご希望の際は、当センターまでお問合せください。

【お問合せ先】 ☎55-1646

## 令和4年度 高齢者活躍人材確保育成事業

この事業は、実際の就業体験や技能講習などを通じて、60歳以上の方、企業 双方にシルバー人材センターを理解していただき、シルバー人材センターの新規会員登録とシルバー人材センターを活用する企業を増加させることを目的としています。今年度は、下記の講習が開催されますので受講をご希望される方は、是非お申込みください。(申込み〆切日は8月17日です!!)

講習科目	講習期間	開催場所
剪定講習	9/1(木)～ 9/2(金) 2日間	角館交流センター

◇ この講習は、基本的に令和4年度中に入会を検討している方や新たな分野で活躍を検討しているシルバー会員が対象の講習となっております。

※ 入会の意思のない方や就職されている方は受講できません

【お問合せ】 (公社)仙北市シルバー人材センター事務局 ☎55-1646

### 編集後記

まだ新型コロナウイルス禍のさめやらぬ中での二月、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、あらゆる物価高騰に悩まされている中、これから先も続くのか不安である。一人の権力者でこんなに苦しんでいる世界はあまり見た事が無い。

ある日、昭和三十二年四月号の町の広報を広げて見た。各村々の合併が始まり、町が誕生した頃、当時の慶弔欄を見ると、七十才以上が長寿者と載っている。三カ町村合わせる八百人位で特に八十才以上となると数人しか存在していないのだ。今は健康寿命だのバランスの良い食事、そして暑さ・寒さの対策が出来るのでしよう。これからも健康維持に努め、いつか来る明るい未来を期待し、頑張ってみようと思っっています。

広報委員 田村茂雄